



国体カウントダウンボードお披露目・感謝状贈呈式



高専ロボコン関東甲信越地区大会



第50回関東高等専門学校サッカー選手権大会



北関東高校総体優勝（陸上競技部）

Vol.13

2021.11

目次

学校長挨拶	
人のintegrity	2
高専ロボコン2021関東甲信越地区大会	3
全国高等専門学校第32回プログラミングコンテスト ..	4
第55回工陵祭	5
国体カウントダウンボードの製作.....	6
学生の活躍【陸上競技部インターハイ出場】	7
学生会ニュース.....	7
学寮ニュース.....	8





人のintegrity

校長 堀 憲之

本校の教育理念は、皆さんご存じの通り、初代校長が説かれた「技術者である前に人間であれ」です。これは、本校において専門技術を身に付けることだけを目指すのではなく、人間としても成長しましょう、ということだと思えます。その英訳について考える機会があり、周囲の方々に協力頂いて、結局

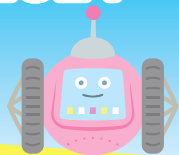
School Motto: “Pursuing to be an engineer of integrity”

となりました。「インテグリティあるエンジニアを目指して」という合言葉です。原文にはピッタリ合っていないですが、趣旨は大きくずれてはいないと考えています。この integrity は英語圏では類出語のようですが、色々な意味合いを持っていて、素人の私にはひとことで表すことが難しい単語です。例えば a man of integrity は「高潔 (noble) な人」、「誠実 (honest) な人」、「品位ある (graceful) 人」、「真摯 (sincere) な人」、「公正 (fair) な人」、「完結 (complete) な人」、「無私 (unselfish) な人」などを意味するそうです。「道徳的に健全 (morally sound) な人」など、意味を追求すると裾野がどんどん広がりそうなものもあります。Integrity は数学では整数 (integer、小数点がなく整っている数?) や積分 (integral、一体化・完全化されたもの?) と関係があるようです。日常では推薦文で人を評価する際の最上級の誉め言葉の一つでもありますし、入学願書などの推薦評価欄に integrity の項目があると、その人の人物面の総合的な評価を記入したりします。色々な優れた側面を一言に含む integrity は、目指すべき人間像を表す場合にも適していると考えました。「integrity ある人とはどんな人だろう」と各人に千思万考してもらいたいと思えます。皆さんには技術的な側面と自身が考える人間の側面のどちらも欠けることなく、バランスのとれた人材になることを目指してもらいたいと思えます。そう言いつつも、私自身は未だにこのことが達成できておらず、今回は自戒の念も込めて、学生の皆さんへのメッセージとしました。



高専ロボコン 2021

関東甲信越地区大会
(10月31日オンライン開催)



2021競技テーマ 超絶技巧(すごロボ)

A
チーム

あなごちゃんち
「アナゴちゃん家」

デザイン賞

B
チーム

「クアッドアクセラー」

準優勝
&
全国大会出場決定!



A チームリーダー

電気電子創造工学科 2年 木下 紬

他高専の多くのチームが技術力で勝負する中、私たちは、技術力に加えて演技のストーリー性やロボットの見た目にもこだわりました。ロボットがボールを投げてキャッチする演技では、ボールを高くあげて見栄えをよくするよう工夫しました。今年は新型コロナウイルスの影響により課外活動の実施に制限がかかり、活動時間が短く、体育館の全面をなかなか使用できないなど、完璧な環境で練習ができず苦労しました。本番では、演技が終わった後、YouTube視聴者の皆様から「楽しかった」とたくさんコメントが届き、良かったです。



写真左からフィッシューター（シュートする魚）、オクトパス（パスするタコ）、キャッチアナゴ。デザインはリーダーの木下さんが担当。



B チームリーダー

機械工学科 4年 清水 由彦

今大会ではロボットのサイズ制限が緩和されたことから、昨年よりも動きが大きく、派手でダイナミックなロボットが作りたいと思い、ジャンプ技や1本足で立ち上がる技術を取り入れたフィギュアスケートのロボットにしました。ロボットを1本足で立たせるため、円盤（ドレス）の大きさや足の長さの比率を考えるのに苦勞し、製作時間の大半を費やしました。また、ロボットの肩に縦横の動きを作る2種類のモーターを入れて腕のスイングを可能にする等、人のような滑らかな動きにもこだわりました。

今回の地区大会では、ジャンプ技でロボットの操縦のタイミングが合わずに悔しい思いをしました。全国大会に向けて、操縦のタイミング頼りでなく、誰が操縦しても何度やってもジャンプが成功できるよう、更に改良を加えたいと思います。全国大会は現時点では国技館で開催予定とのこと、オンラインで見ると生で見るとでは迫力や力強さの感じ方が違うと思うので、是非、皆様にも現地で生の演技を見ていただきたいと思っています。



全国高等専門学校

「集え！未来創造への限りなき想い」

第32回 プログラミングコンテスト

10月9日～10日
オンライン開催

【課題部門】 KANJYO 線

企業賞

【自由部門】 翻訳展開!! -ハンズフリー音声翻訳システム-

特別賞

【競技部門】 ノーセンス・ノーネーム

準決勝進出



高専プロコン本選出場を終えて

2021年度プログラミングコンテストプロジェクトリーダー
電気電子創造工学科3年 印南 諒祐

オンライン開催となった第32回全国高専プログラミングコンテストは、予選通過枠が例年よりも少ない状態の中、応募した全部門で予選を通過することができました。それぞれ競技部門チーム「ノーセンス・ノーネーム」、課題部門チーム「KANJYO 線」、自由部門チーム「翻訳展開!!」で戦ってきました。

競技部門では、アルゴリズムでバラバラになった絵を自動で組み替え正確性と速さを競い、チームは準決勝に出場することができました。課題部門では、事前に決められた「楽しく学び合える!」という課題に沿ったシステムの開発で、感情をリアルタイムで共有するアプリケーション「KANJYO 線」を発表し、株式会社シーエーシー企業賞を受賞することができました。自由なテーマで開発できる自由部門では、見るだけで自動で翻訳するアプリケーション「翻訳展開!!」をアピールして、大会の特別賞を受賞することができました。参加学生による相互評価でも課題、自由両部門で表彰を貰えました。このような例年にない結果をいただけたのは最後まで全力で頑張ったチームメンバーを始め、裏方でサポートしてくれた他のプロジェクトメンバー、そして支えてくれた家族のおかげだと思っています。ありがとうございます。



課題部門



自由部門



競技部門

第 55 回 工 陵 祭

第 55 回工陵祭実行委員長 電気電子創造工学科 4 年 坪山 拓樹

第 55 回工陵祭実行委員長を務めました、電気電子創造工学科 4 年坪山拓樹です。今年度の工陵祭も昨年同様、コロナ禍での開催となりました。安全な工陵祭を開催すべく、感染対策を強化し、様々な制限を設けさせていただきました。学内開催に加え、飲食企画を中止にするという決定は今までの工陵祭の歴史を振り返っても稀なことであると思います。10 月頃に対面授業が再開され、工陵祭の開催の是非について先生や実行委員会内で検討を重ねてきました。コロナ禍で開催したくないという意見もありましたが、人と人が言葉や笑顔を交わし、学生が活躍できる場を設けることに意味があると思い、また、学生に少しでも楽しい思い出を作っていたきたかったため、規模を縮小して実施する運びとなりました。

去年から行っている、入場者の検温、ステージパフォーマンスの観覧席での密対策や動線確保に加え、入場受付済

みの証明としてリストバンドを配布したり、教室内で密になって食事をしないように駐車場に大規模な飲食スペースを設置したりと新たに導入したこともあります。そのため、人の流れを把握することが可能となり、感染対策を行いつつ食事をとってもらうことができました。

1 ヶ月という短い期間で準備を進めることになりましたが、このように無事工陵祭を開催できたのはご尽力いただいた教職員の方々や保護者の方々、そして実行委員、学生の皆様がいたからだと思います。心から感謝申し上げます。来年度も感染対策を基本とした開催になると思いますが、昨年と今年の経験を活かし、飲食企画の実施、保護者の方を招待して今年の工陵祭より何倍も楽しめる工陵祭の開催を目指して実行委員一同準備を進めてまいります。さらに進化していく工陵祭を楽しみにしててください。






国体カウントダウンボードの製作




本校学生が、小山市からの依頼を受けて、来年の「いちご一会とちぎ国体」開催までの日数を表示するカウントダウンボードを製作しました。機械工作研究部で2台、デザイン同好会で1台、建築学科の有志グループで1台、計4台を製作し、10月26日に小山市役所でお披露目・感謝状贈呈式が行われました。ボードの設置場所は、写真左から、県南体育館、小山市運動公園内合宿所、温水プール館（改修完了までは市役所本庁舎1F）、市立体育館です。各施設お立ち寄りの際には是非ご覧ください。



機械工作研究部



デザイン同好会



建築学科有志グループ



今回私達は、2台のカウントダウンボードを製作しました。最初この計画を聞いた時は、自分達がちゃんと製作することが出来るかどうか不安でした。製作は試行錯誤の連続で失敗することもありましたが、その度に仲間と励ましあってきました。私はこの荣誉あることに参加できたことを嬉しく思い、同時に製作に携わってくれた全ての人に感謝しています。

機械工作研究部



今回、このようなお話をいただくのは初めてのことであったため色々トラブル続きでしたが、どうにか完成することができてよかったです。デザイン同好会としても大きな実績となり今後の活動に前向きに取り組むことができるような気がします。今後ともよろしくお祈りします。

デザイン同好会



この度は、国体のカウントダウンボード制作という貴重な体験をさせていただき、とても嬉しく思います。学校で培った経験を生かし、メンバーと作業を進めてきました。これから多くの方々に見ていただけること、国体が開催されることを楽しみにしています。

建築学科有志グループ



6月18日から21日にわたり、令和3年度関東高等専門学校陸上競技大会が開催され、本校の犬飼 侑樹君（機械工学科）が400M 障害で見事優勝し、全国高等学校陸上競技選手権大会（通称インターハイ）へ出場して準決勝まで進みました。今回のインターハイ出場は、本校にとっても、高専全体にとっても、快挙となりました。

北信越インターハイ 2021 に出場して

機械工学科3年 犬飼 侑樹

6月の北関東大会で優勝し、インターハイを決めた瞬間は最高に幸せでした。高専に入学した頃から「インターハイ出場」を目標に取り組んでいたため、直前一週間は精神的に苦しかったです。自己記録の更新と準決勝で勝負することができたので、笑顔でいい報告が出来て本当に嬉しかったです。ずっと夢だった舞台で競技をする事ができ、3年間の集大成として貴重な経験ができました。常に同行頂いた顧問の長田先生をはじめ、支えて下さった家族や友人、先輩方には感謝してもしきれません。一生に残る夏にすることが出来てよかったです。



北関東高校総体で優勝した犬飼君

学 生 会 ニ ュ ー ス

建築学科2年 遠藤 慎

皆さんこんにちは。学生会執行部広報局です。そろそろこたつが欲しくなる時期になりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

後期が始まり、もう三ヶ月が過ぎようとしています。さて、夏季休業が終わってすぐのテスト、休み明けということもあり成績が思うように伸びなかった人も中にはいたでしょう。しかし落ち込んではいられません、すぐに工陵祭がやってきます。約一ヶ月の準備期間、各クラスが猛スピードで個性輝く作品を作り上げていきました。そして工陵祭当日、今年も学生の笑顔を見る

ことが出来ました。去年と同じく規模縮小となってしまったことは少し残念ですが、それ以上に伝統あるこの工陵祭を無事成功させることができるととても嬉しく思います。季節もすっかり秋になり、球技大会が今期も行われました。前期とは違い、人数を制限しての開催となりましたが各々全力で楽しむことができたのではないのでしょうか。

今期も学生会執行部は精進していきますので高専で一体となり感染症対策・健康に気を配り、より良い高専ライフを過ごしましょう。

学 寮 ニ ュ ー ス

令和3年度後期寮長 機械工学科4年 伊勢川 真生

10月にグラウンドに響くだろう寮生の賑やかな声は聞こえませんが、今年の寮祭は新型コロナウイルスを考慮し中止に至りました。学年問わず仲良く交流できる行事の中止は非常に無念です。1年生が入寮して半年が経った頃、感染症対策を考慮しての集団生活の難しさを改めて実感しました。しかし、寮生全員が協力して感染症対策を徹底し、寮務スタッフの方たちのご協力があった、これまでの学寮生活に大きな支障が無いことは、寮生会として非常に嬉しい限りです。

寮生の方々には、寮生活運営に携わっている先生やスタッフの方に感謝し、寮生どうし互いに「敬意」と「思いやり」を持って行動し、引き続き感染症対策に尽力した学寮生活にご協力いただきたいと思います。寮長としてそれらの活動を精一杯サポートしていく所存です。

夜寒の折皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

寮務主事 須甲 克也

寮生諸君や保護者の皆様のご協力とご理解のもとで新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの学寮運営をしています。特に夏季休業後の開寮前、寮生全員にPCR検査を受けていただいたおかげで安全な開寮が実施できました。また、自主的に退寮して通学に切り替えてくれた多くの寮生のおかげで後期から2人部屋を解消して個室化が実現できました。感謝申し上げます。

さて、寮生活は寮生会執行部が中心となって運営しています。食事や入浴はグループ毎の時間割り当てに従って密を避け、黙食、黙浴を徹底しています。体調管理に関しては毎日2回の健康チェックを行い、体調不良の寮

生に対しては本人の了承のもとで直ちに学寮常備の検査キットによる抗原検査を実施して自宅療養や診療に繋げています。また5月～10月は政府内閣官房募集のモニタリングに協力する形で、寮生全員と寮務スタッフ全員を対象に毎週PCR検査を実施しました。延べ2,300回のPCR検査を受けて全てが陰性でした。またワクチンについては、学校から小山市への働きかけにより、寮生の集団接種を学校で実施できました。

今後もまだまだ油断はできませんが、寮生会と話し合いながら安全な学寮運営を続けたいと考えています。



独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100

編集：小山高専広報戦略室 発行：2021.11